

大学のライフプラン教育促進事業業務において

開発した教育プログラムについて（概要）

高等教育コンソーシアムみえ（以下、「コンソーシアム」）では、三重県からの受託事業により、結婚をはじめとするライフプランやキャリアデザイン等に関する教育プログラムを開発した。内容は次のとおり。

1 目的

高等教育機関の自主的なライフプランやキャリアデザイン等に関する普及啓発の取組活性化を図る。

2 製作日時

平成 30 年 1 月 25 日～3 月 9 日

3 作成したコンテンツ

(1) 講義用スライド (Microsoft PowerPoint)

- ・ 教育プログラムを実施する場合に、講師が使用するスライド
- ・ 当該分野の専門外である教員等であっても講義が行えるよう、説明のポイントや時間配分など、講師が留意すべき点を記載

(2) ワークシート (Adobe PDF)

- ・ 教育プログラムを受講する学生の自学自習力を高めるためのシート
- ・ 個人ワークやグループワークなど、内容によって実施方法を設定

4 教育プログラムの内容

(1) 構成

1 プログラムあたり 1 コマ (90 分) の時間配分

(2) 内容

① ライフプランって何だろう？

- ・ これからの人生を考えて、自分のライフプランを実際に立ててみることを目標とする
- ・ ライフイベントと「生きがい・健康・経済生活」の 3 つのテーマを考えながらライフプランを作成する

② 働くこと

- ・ 働くことの目的や意義を考えるとともに、仕事についての現状を理解する
- ・ これからの自分の働き方についてイメージを形成する

③ 結婚のこと

- ・ 結婚やパートナーについては、個人の考え方や価値観が尊重されることが大前提で、そのあり方も多様であることを理解する。
- ・ 性的な要素を含む行為や嫌がらせによるトラブルについて理解する

④ 妊娠・出産のこと

- ・ 妊娠・出産は個人の価値観や考え方が尊重されることが大前提であり、子どもを産む・産まないについては、パートナーと相談しつつ、女性の判断が最優先されることが理解できる
- ・ 妊娠と出産に関する正しい知識を獲得する
- ・ 妊娠するためには自分の健康が大切であることを理解する

⑤ 子育てのこと

- ・ 子どもを持つことは、個人の考え方や価値観が尊重されることが大前提であることを理解する
- ・ 子どもを育てる生活のイメージを形成する
- ・ 子育てをサポートする制度を理解する

⑥ ダイジェスト版

- ・ ①から⑤までのプログラムを統合し、1コマにまとめた内容

5 ポイント

- ・ 開発した教育プログラムは、今年度、コンソーシアムが作成した啓発コンテンツ（冊子、動画）を教材として活用する
- ・ 特定の価値観の押し付けとならないよう配慮